

最近の雇用情勢について

(平成29年4月)

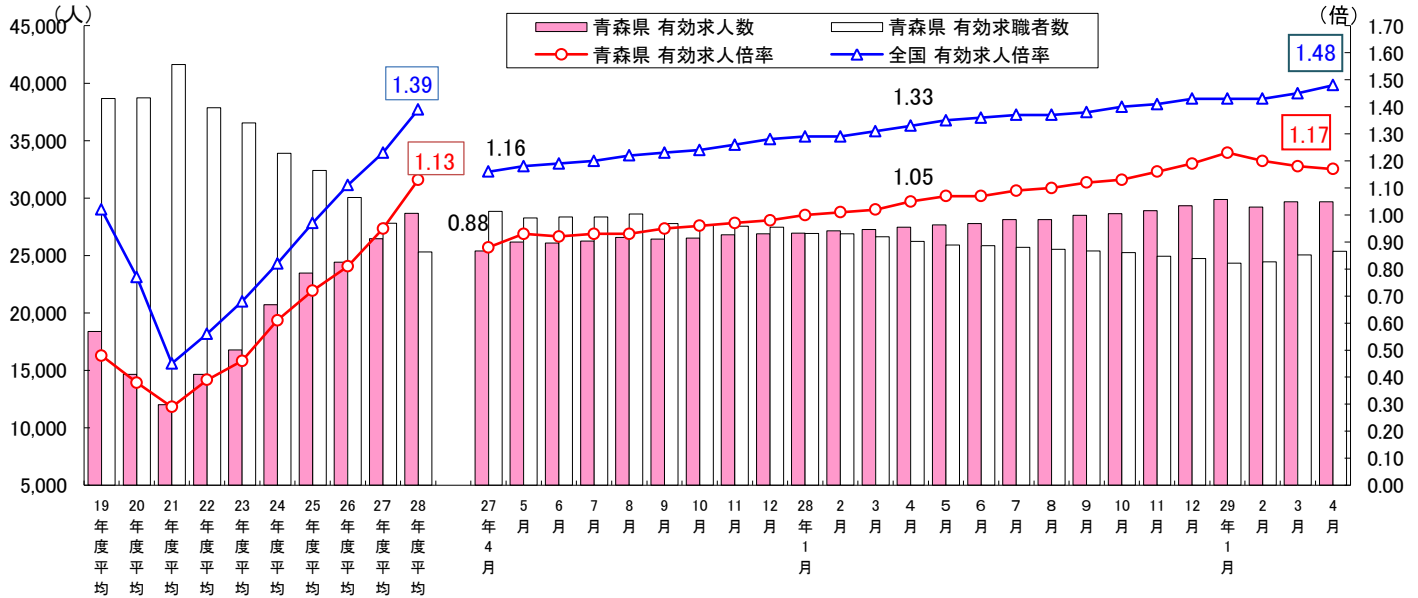
青森労働局

I 求人・求職・受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

4月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.1%増加し29,684人、有効求職者数(同)は1.2%増加の25,356人で、有効求人倍率(同)は1.17倍となり、前月を0.01ポイント下回った。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は、1.26倍となり、前月を0.01ポイント下回ったが、受理地別の倍率を0.09ポイント上回った。

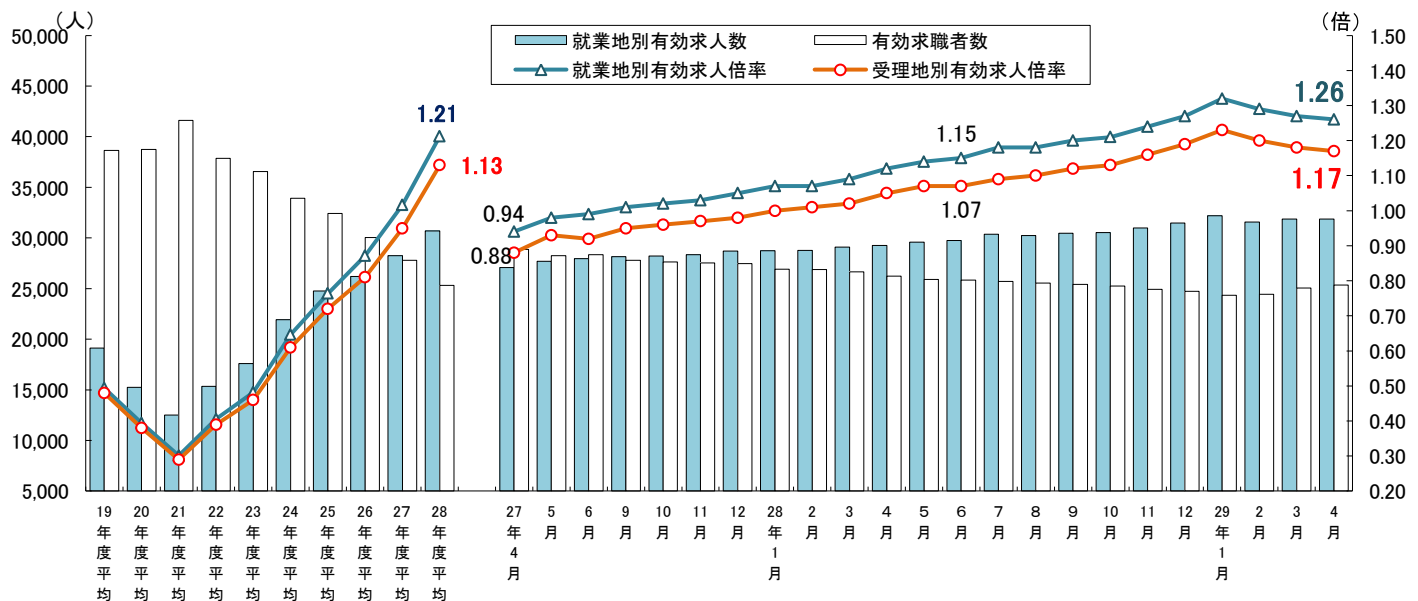
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



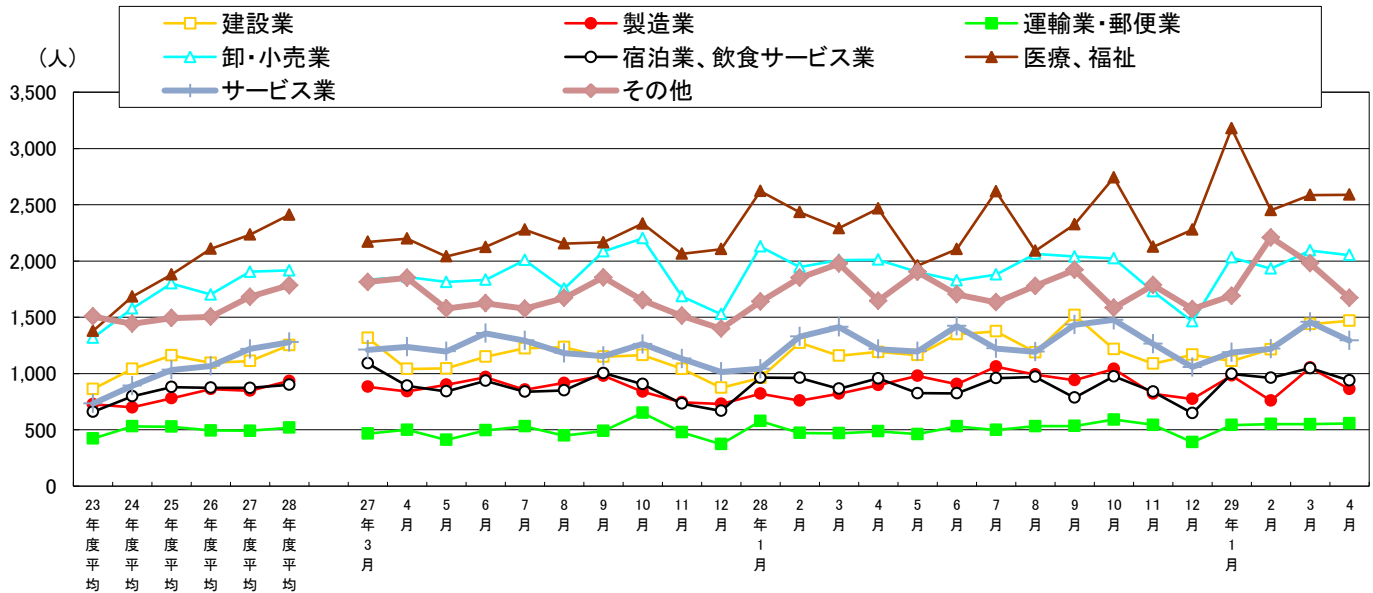
全国ハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成28年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

Ⅱ 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

4月の新規求人数(原数値)は前年同月比5.1%(559人)増加、前月比6.4%(777人)減少の11,431人。

産業別で前年同月と比較すると、農、林、漁業、建設業、運輸、郵便業、卸売・小売業、不動産、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、医療、福祉、複合サービス事業、サービス業等で増加し、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、金融・保険業、宿泊業、飲食サービス業、教育、学習支援業等で減少した。製造業では、窯業・土石製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、はん用・生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、情報通信機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で減少した。



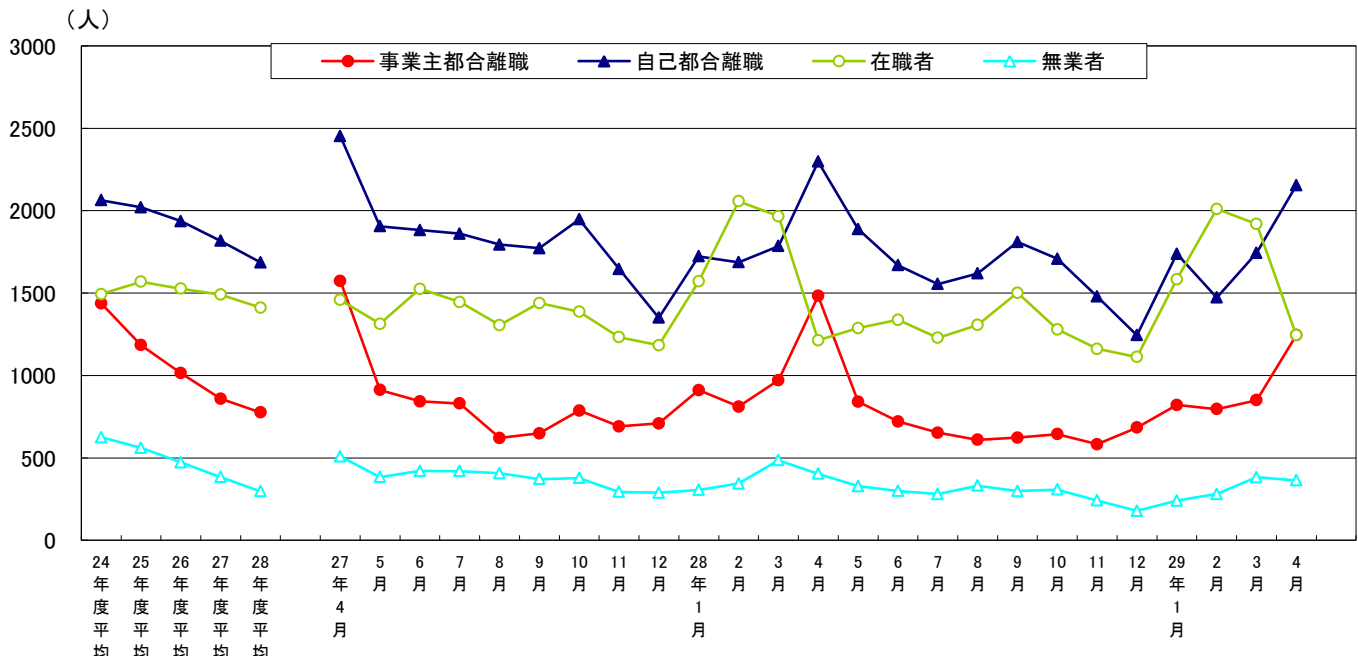
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

4月の新規求職者数は、前年同月比7.2%(405人)減少、前月比4.8%(240人)増加の5,231人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は2.6%(31人)増加し、離職者は9.9%(396人)減少、無業者は9.9%(40人)の減少となった。

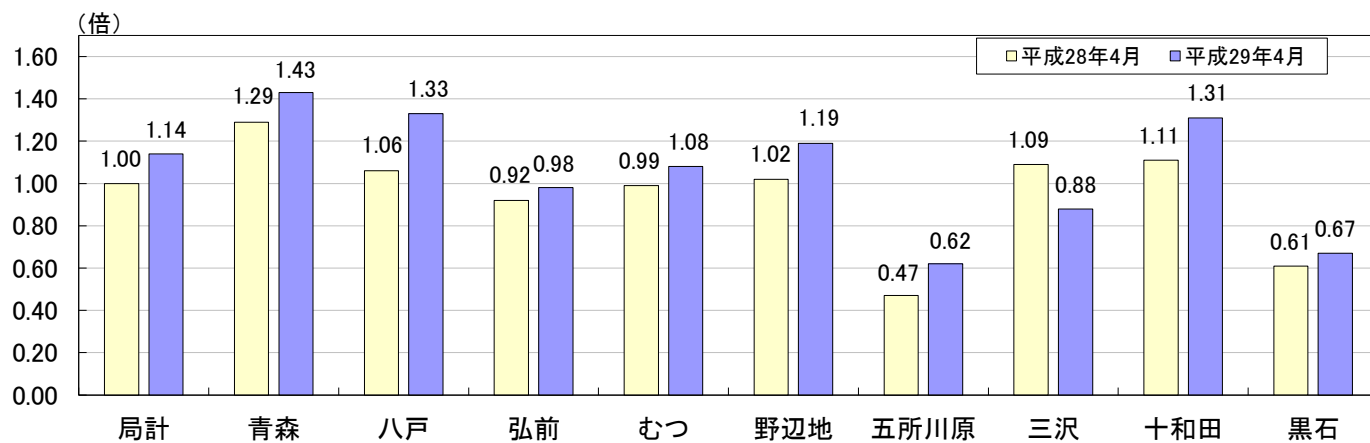
離職理由でみると、事業主都合は16.0%(238人)の減少、自己都合は6.3%(145人)の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

4月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.14倍となり、前年同月を0.14ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



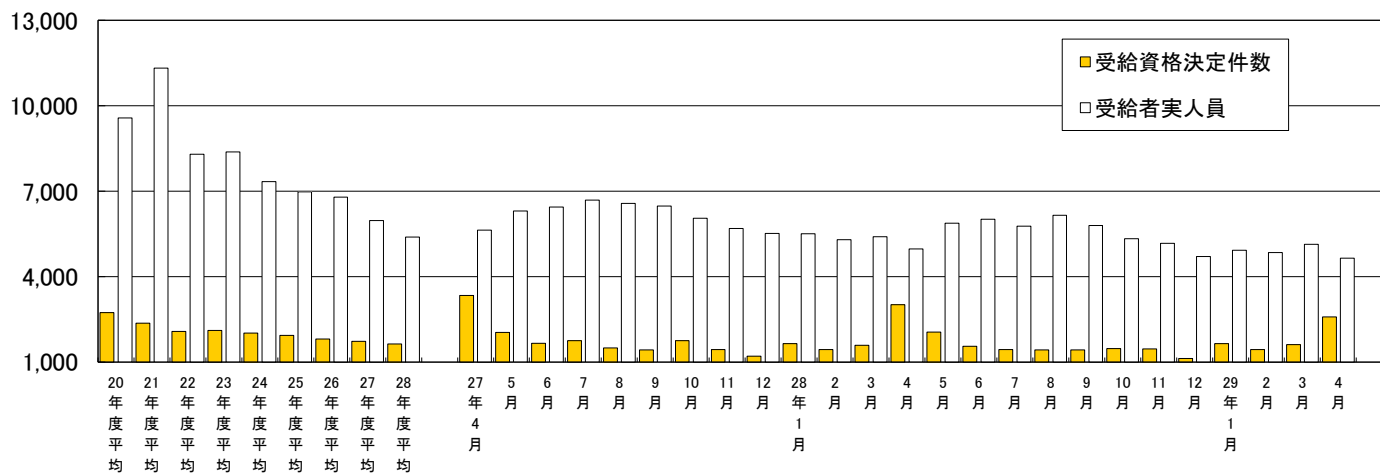
	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	26,525	6,577	5,758	4,975	1,324	1,057	2,584	1,516	1,235	1,499
有効求人数	30,168	9,396	7,664	4,867	1,433	1,260	1,590	1,335	1,622	1,001

V 雇用保険の状況

4月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比6.7%(333人)減少、前月比では9.6%(491人)減少の4,639人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比14.1%(424件)減少、前月よりも61.1%(980件)増加し2,584件となった。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比33.2%(274人)減少、前月比6.6%(34人)増加の551人となった。

(人) 受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人) 事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

